

学校便り

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 224 313 684

Email : gakko@jpschool.cz

No.908 2018/2/28

# VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

## ポジティブ・シンキング(前向きに考えよう)

(2月28日校長朝会講話)

3つの出会いの話も今年もいよいよあとわずかになってきました。仲間との出会い、チェコとの出会いそして自分との出会いがありますが、今日はチェコとの出会いです。平昌（ピョンチャン）で開かれていた冬季オリンピックでは、日本の応援もしますが、やはりチェコの活躍も気になったのではないのでしょうか。とりわけ印象に残ったのは、エステル・レデツカさんです（たくさんの児童生徒のうなづき）。身長は校長先生と同じくらいですが、金銀二つのメダルをスキーとスノーボードでとりました。これは卓球とテニスで金メダルを取るくらい難しいそうです。彼女は、だれからもスキーかスノーボードのどちらかにしたほうがいいと言われ続けてきましたが、最後まで自分が本当にやりたいことをやり通したそうです。3週間ごとに二つの競技を入れ替えて練習したり、面白い練習を工夫したりしているのがテレビで紹介されていました。きっとものすごく努力したでしょうし、ものすごく考えて練習したんでしょうね。



また、昨日はチェコのお客さんが二人来校されました。どちらもチェコの方ですが、とても日本語が上手で、英語もぺらぺらと話します。「どうしてそんなに言葉がぺらぺらと話せるんですか。私はチェコ語が難しく大変なのに」ってたずねると、「それがいけない、チェコ語は難しい！って思うことがいけないんですよ」と言われました。こういう考え方をポジティブシンキングと言うそうです。私たちはつい「できないよ、無理だよ、難しいなあ」とマイナスに考えがちなのですが、「きっとできる」と考えて、何でも柔軟に向かい合っていくことが大切だそうです。日本語とチェコ語という二つの言葉を楽しく結びつけて覚えていたそうです。

この二人のお客さんと二つの金メダルのレデツカさんとは、共通するところがあるなと思いました。この3人は、いつも「だめだ」なんて思わないで、大変なことでも、すごく楽しそうに、柔軟な気持ちで、しかも自分のやりたいことをやり通すということです。何事も前向きにポジティブシンキングです。

いろんな出会いがありますが、つねにプラスに考えていくことが大切なんでしょうね。そうすると、自分の能力がさらに広がる。もちろんこれは金メダリストの話ですが、私たちのこれからのまとめの2週間、そして4月からも応用できるかもしれません。

(追加) オリンピックは日本人もがんばりました。小平選手が女子500メートルのスケートで金メダルでしたが、銅メダルはチェコでした。名前はエルバノバさん。覚え方は、英語のエルに場の場って覚えられました。これもポジティブシンキング？

### ＝早帰りの際のお願いです＝

小学部は、3時5分の6時間目終了後、早帰りができます。児童は、早帰りの際に6時間目の終わりが待ちきれなくてそわそわします。しかし、授業はきちんとうけさせますので、下校の準備は6時間目終了後からとなり、下校時刻は3時10分頃になりますことをご理解ご協力いただければと思います。

### ＝転出入のお知らせです＝

【転出】

小学部5年 名川 くん

【転入】

小学部3年 山本 くん